



お砂糖はスズラン印

日本甜菜製糖株式会社 2019年3月期 決算資料

2019. 5. 10

東証第一部 証券コード2108



お砂糖はスズラン印

目次

2019年3月期

1. 決算の概要
2. セグメント別損益
3. トピックス



お砂糖はスズラン印

1. 決算の概要

■国内情勢

- ✓雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、緩やかな回復が続いている

■海外情勢

- ✓米中貿易摩擦や英国のEU離脱交渉など不安定な要素があり、先行き不透明な状況

■砂糖業界情勢

- ✓消費者の低甘味嗜好や安価な輸入加糖調製品、異性化糖及び高甘味度人工甘味料の影響を受け砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いている



お砂糖はスズラン印

1. 決算の概要

単位：百万円

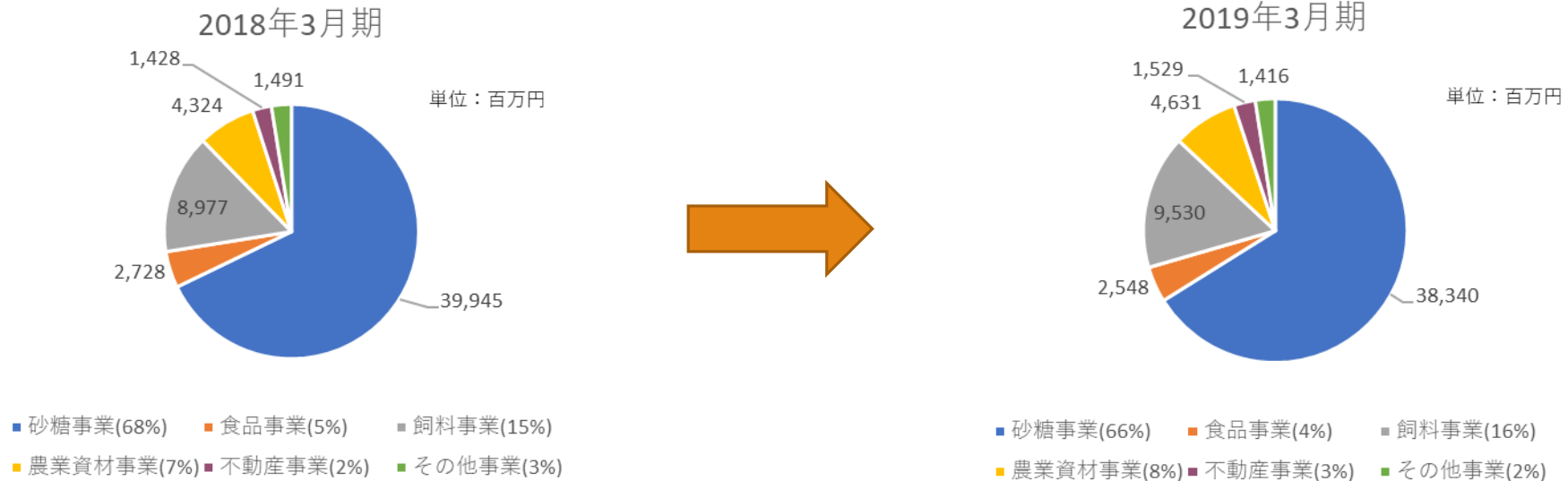
	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比		主な要因
			増減額	増減率	
売上高	58,895	57,997	-897	-1.5%	砂糖の販売価格の低迷等
営業利益	1,584	1,577	-6	-0.4%	
経常利益	1,983	2,037	53	2.7%	受取配当金等の増加等
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,223	1,324	100	8.2%	



お砂糖はスズラン印

1. 決算の概要

(セグメント毎の売上高比率)



58,895百万円→ 57,997百万円(△1.5%)

✓ 砂糖の販売価格の低迷等

✓ 飼料事業、農業資材事業の売上が増加



お砂糖はスズラン印

2. セグメント別損益

<砂糖事業>

■国内市況

- ✓ 期初189円～190円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まる
- ✓ 海外相場の変動を受け7月には2円下落し187円～188円となり、そのまま当期を終える

■海外市況

- ✓ ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初12.52セントで始まる
- ✓ 2018年9月にはインド、タイ、欧州等の砂糖生産量の増加見込みによる供給過剰感やインド政府が輸出支援策を打ち出したことから、2008年以来の低水準9.90セントまで下落する
- ✓ その後、10月にはブラジル通貨レアル高の進行等により、14.01セントまで上昇
- ✓ ブラジルでのサトウキビの生育が順調なことに加えレアル安等により、12.53セントで当期を終える

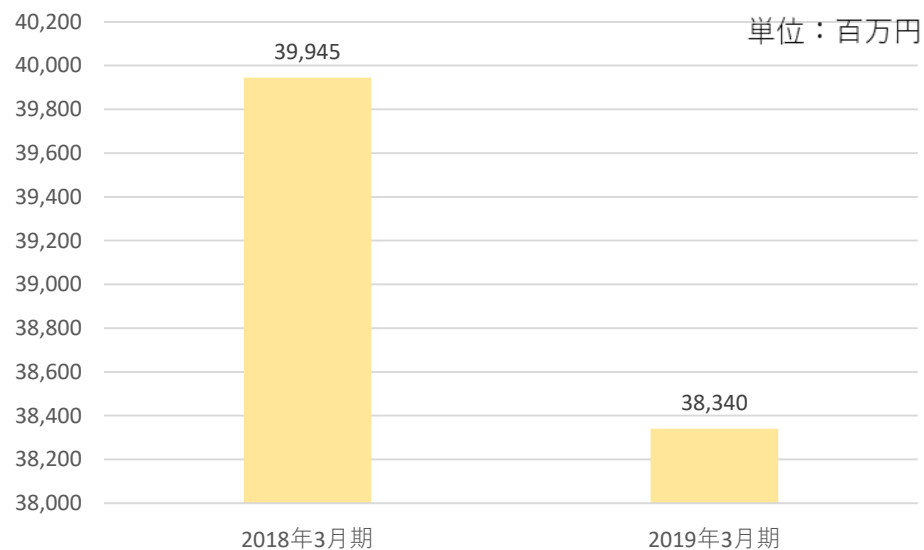
2. セグメント別損益

<砂糖事業>

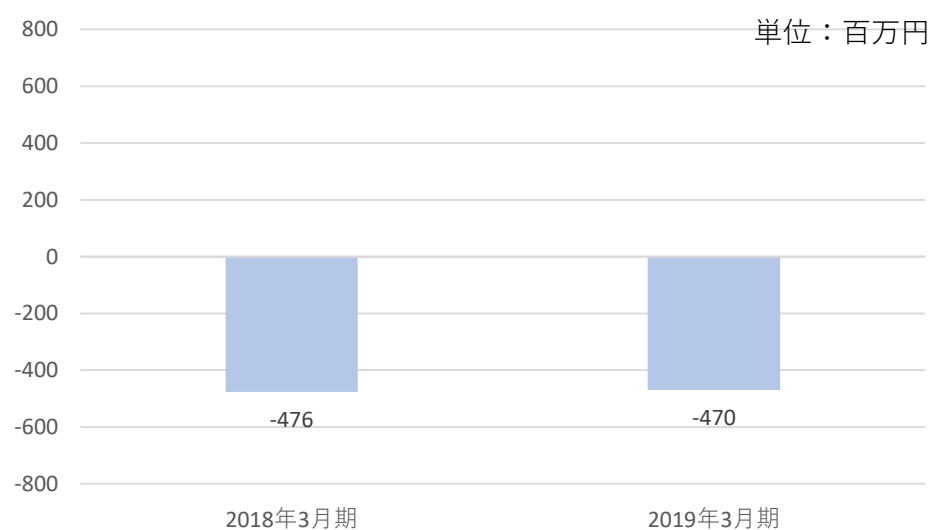
事業内容 ビート糖、精糖、糖蜜等



✓売上高 383億4千万円(前期比4.0%減)



✓営業損益 △4億7千万円



<主な要因>

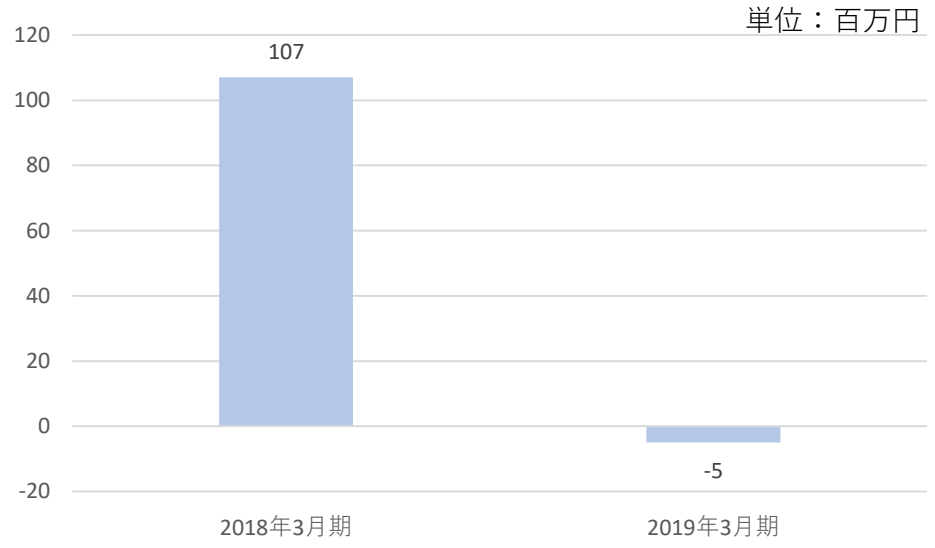
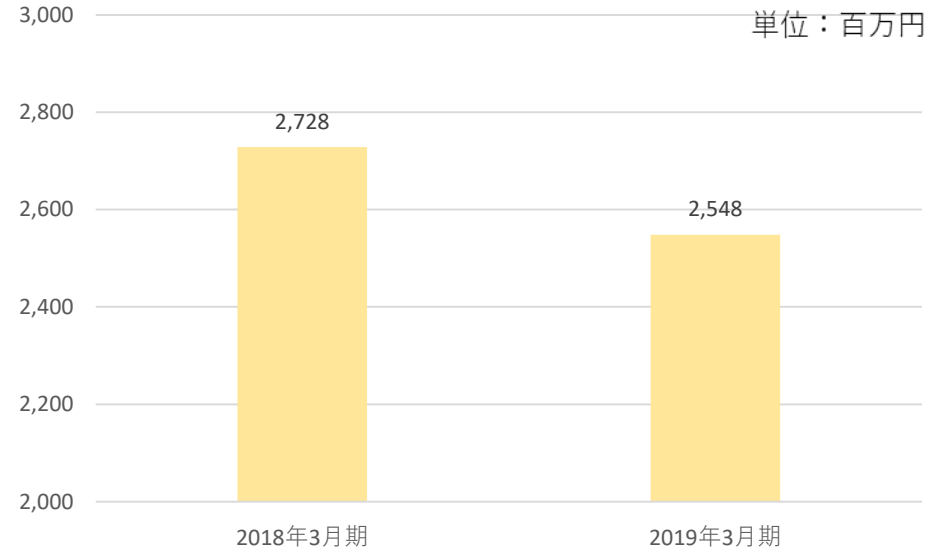
- ・国内砂糖市況の下落に伴い販売価格は下落
- ・ビート糖は白糖の販売量減少、原料糖の販売量増加
- ・精糖は、業務用、家庭用小袋とも低調な荷動き
- ・販売価格の低迷により損益は厳しい
- ・ビート原料糖のたな卸資産評価損計上



2. セグメント別損益

＜食品事業＞ 事業内容 イースト、オリゴ糖、ベタイン、仕入商品等

✓売上高 25億4千8百万円(前期比6.6%減) ✓営業損益 △5百万円



＜主な要因＞

- ・イーストは、猛暑によるパン需要の落ち込みなどから販売量、売上高とも前期を下回る
- ・オリゴ糖等食品素材は、ベタインの販売量が減少し、売上高は前期を下回る

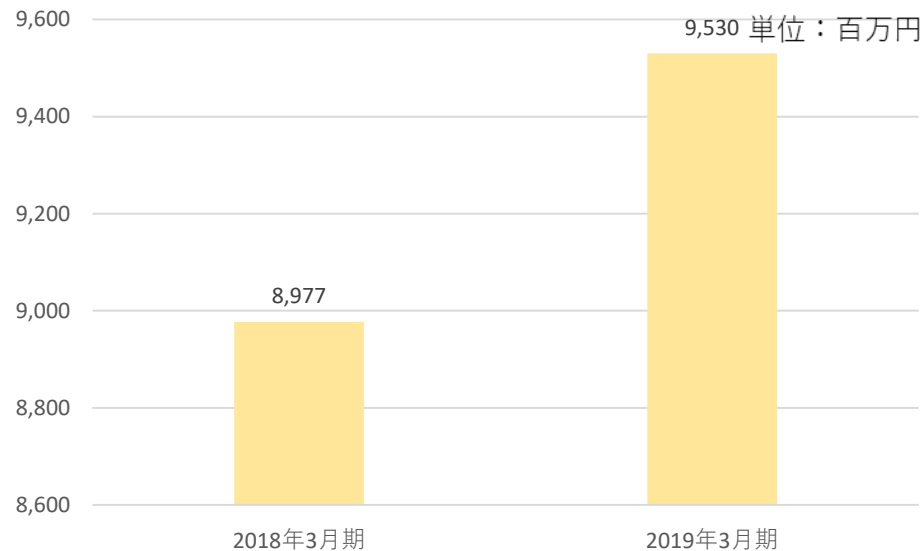
2. セグメント別損益



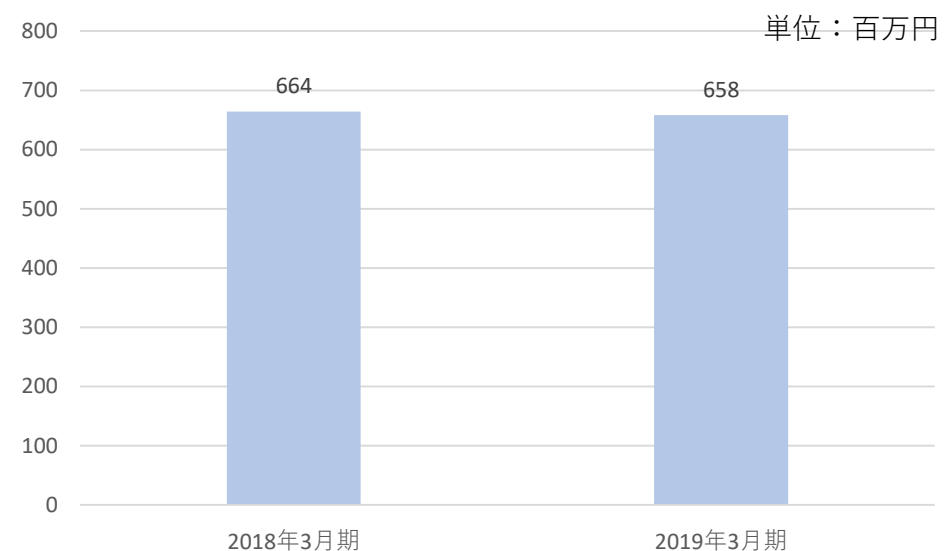
<飼料事業>

事業内容 配合飼料、ビートパルプ等

✓売上高 95億3千万円(前期比6.2%増)



✓営業損益 6億5千8百万円(前期比0.9%減)



<主な要因>

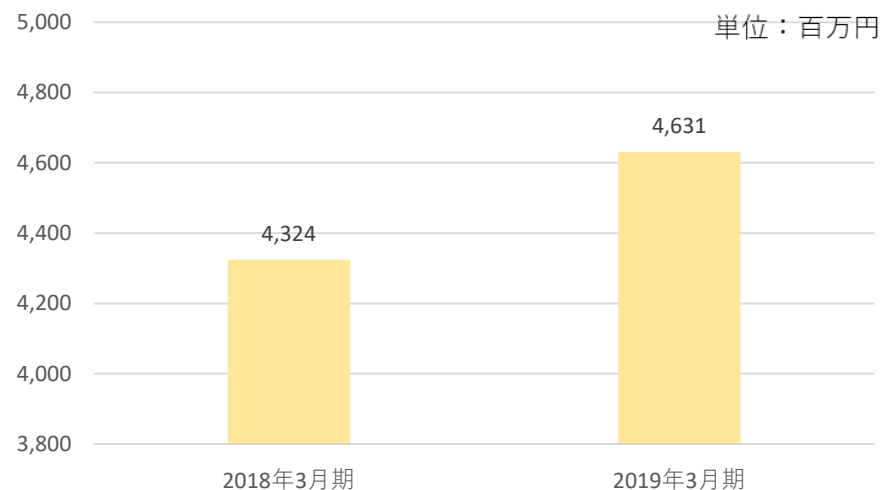
- ・配合飼料は販売量の増加と販売価格の上昇
- ・ビートパルプは、生産量減により販売量は減少したが、売上高は販売価格の上昇により前期を上回る

2. セグメント別損益

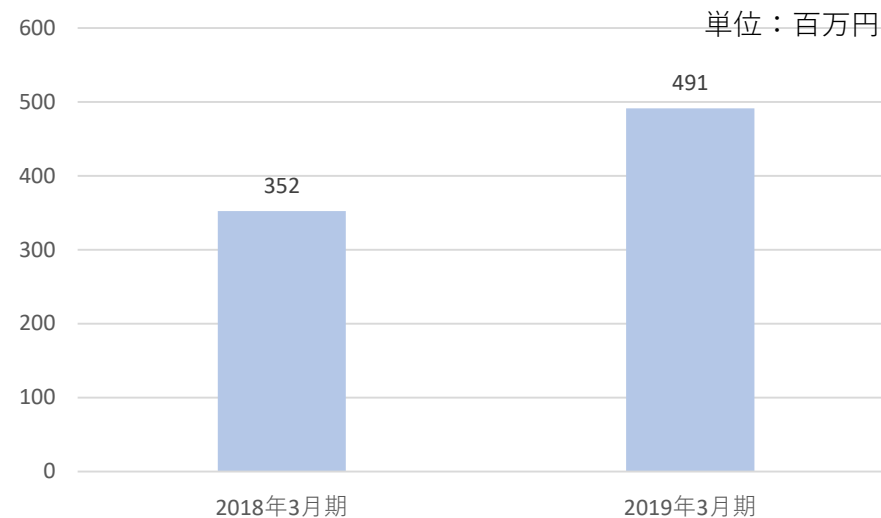


＜農業資材事業＞事業内容 紙筒(移植栽培用育苗鉢)
農業用機械器具、農業資材、甜菜種子等

✓売上高 46億3千1百万円(前期比7.1%増)



✓営業損益 4億9千1百万円(前期比39.7%増)



＜主な要因＞

- ・紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用、そ菜用ともに販売量が減少
- ・農業機材は、移植機材・播種機材の販売の増加

2. セグメント別損益

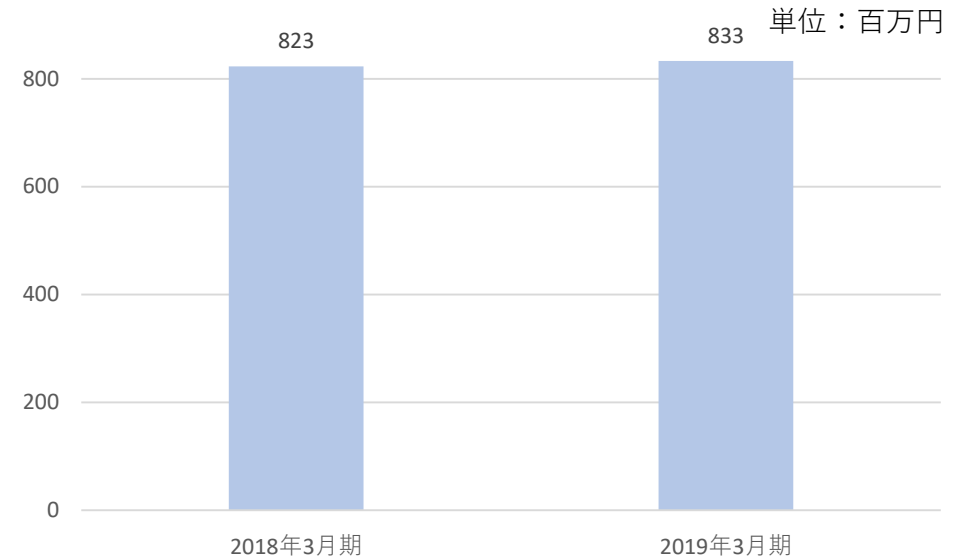
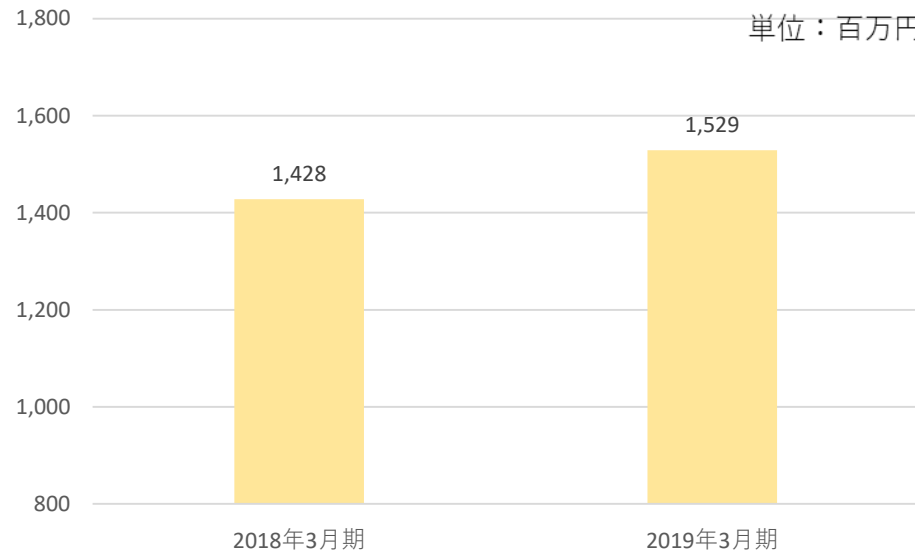


＜不動産事業＞

事業内容 不動産賃貸等

✓売上高 15億2千9百万円(前期比7.1%増)

✓営業損益 8億3千3百万円(前期比1.2%増)



＜主な要因＞

- ・売上高は新規物件の寄与により前期を上回るが、初期費用等の発生により利益は、ほぼ前期並み

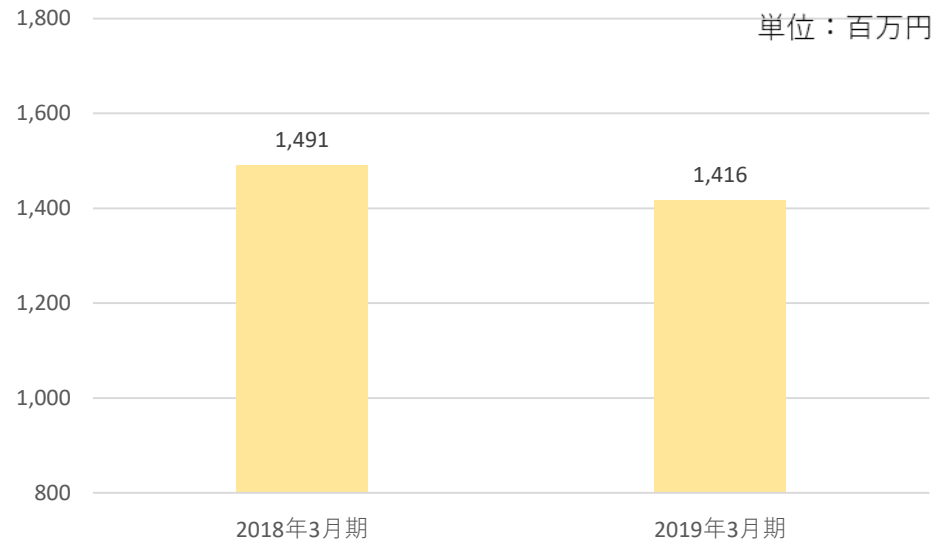
2. セグメント別損益

<その他事業>

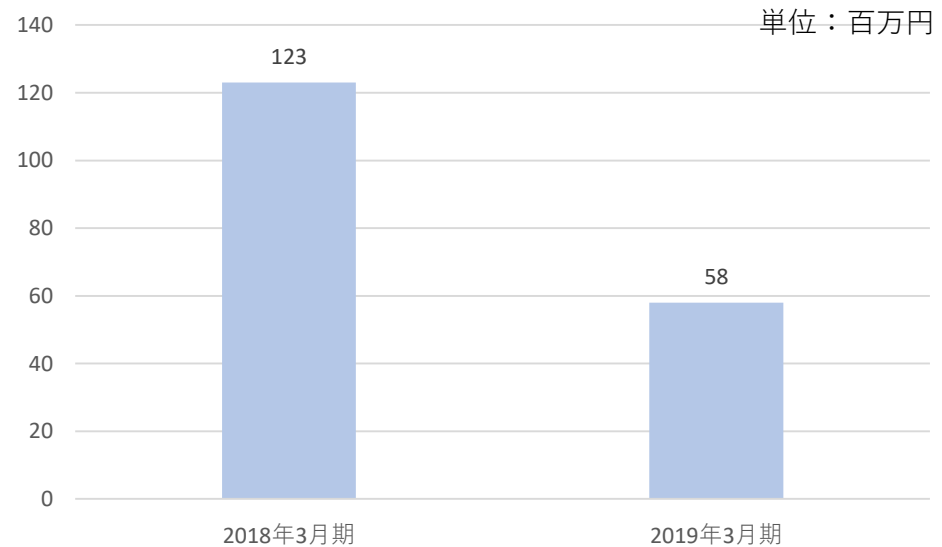
事業内容 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業等



✓売上高 14億1千6百万円(前期比5.0%減)



✓営業損益 5千8百万円(前期比52.5%減)



<主な要因>

- ・貨物輸送の減少等により売上、利益とも減少



お砂糖はスズラン印

3. トピックス

新製品紹介（食品事業／砂糖事業）

＜北海道ビートなシュガープラス＞

＜北海道どさんこオリゴ＞

＜北海道オホーツクビートグラニュー糖＞



✓てん菜含蜜糖にカルシウムとオリゴ糖（DFAⅢ・ラフィノース）を配合した製品



✓てん菜糖蜜を使用したフラクトオリゴ糖入りシロップ



✓ハラール認証を受けたてん菜のグラニュー糖



お砂糖はスズラン印

3. トピックス

新製品紹介(飼料事業)

<コウシのミカタ>



オリゴ糖「DFAⅢ」を初乳(分娩直後から数日間に分泌される免疫成分を豊富に含む牛乳)に混合して出生後の子牛に与えると、初乳中の免疫物質(IgG)の腸からの吸収を促進する効果のあることがわかりました。

牛の胎盤はIgGを通過させないため、子牛は出生後に初乳を飲むことによって免疫力を獲得し、子牛の血中IgG濃度が高いほど生存率が高くなります。ところがIgG吸収は、出生後24～36時間を過ぎると吸収できなくなります。子牛の健康にとって、初乳中のIgGをできるだけ早く多く吸収させることが重要となります。

「コウシのミカタ」はこの重要な段階において、初乳中のIgG吸収をサポートする役目を果たすサプリメントです。

「コウシのミカタ」は子牛の健康の味方です。

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

【お問い合わせ先】

日本甜菜製糖株式会社

管理部管理課

soumutky@nitten.co.jp